

# アンケート調査結果

平成 27 年 2 月

池田町



## I 調査の概要

### 調査の目的

本調査は、池田町障がい者福祉計画策定の基礎資料として、「障害者手帳」をお持ちの方の生活状況や意識、要望等を把握する目的で実施しました。

### 調査の設計

調査地域：池田町全域

調査対象：池田町在住の「身体障害者手帳」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」所持者

サンプル数：731件

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査時期：平成26年11月

### 回収結果

配布数	回収数	回収率
1,180	731	61.9%

### 調査結果の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100にならないこともあります。
- (2) 基数となるべき実数は「全体(N=)」として掲載しました。したがって比率は、件数を100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

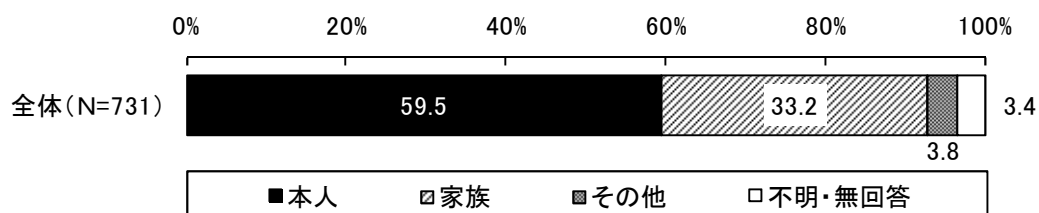
## II 調査の結果

### 回答者の属性

#### ① アンケートの記入者

問1 このアンケートにおもに記入される方はどなたですか。(1つだけ)

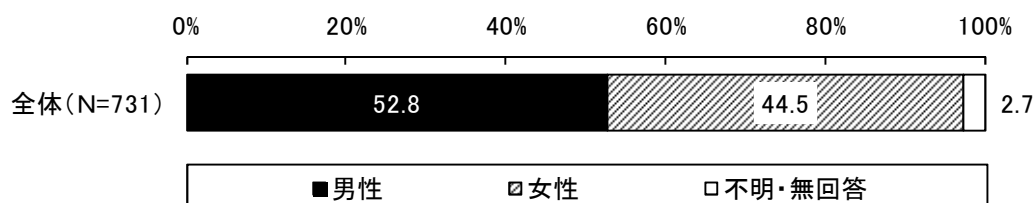
- アンケートの記入者は、「本人」が59.5%で最も高く、次いで「家族」が33.2%となっています。



#### ② 対象者の性別

問2 あなた(障害者手帳をお持ちの方ご本人)の性別はどちらですか。(1つだけ)

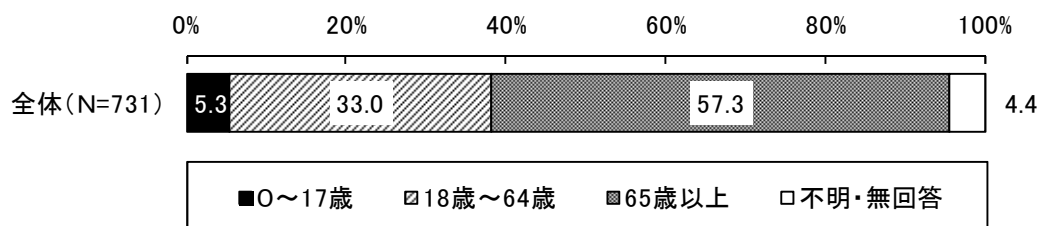
- 対象者の性別は、「男性」が52.8%、「女性」が44.5%となっており、男性の割合が高くなっています。



#### ③ 対象者の年齢

問3 あなたの年齢はいくつですか。

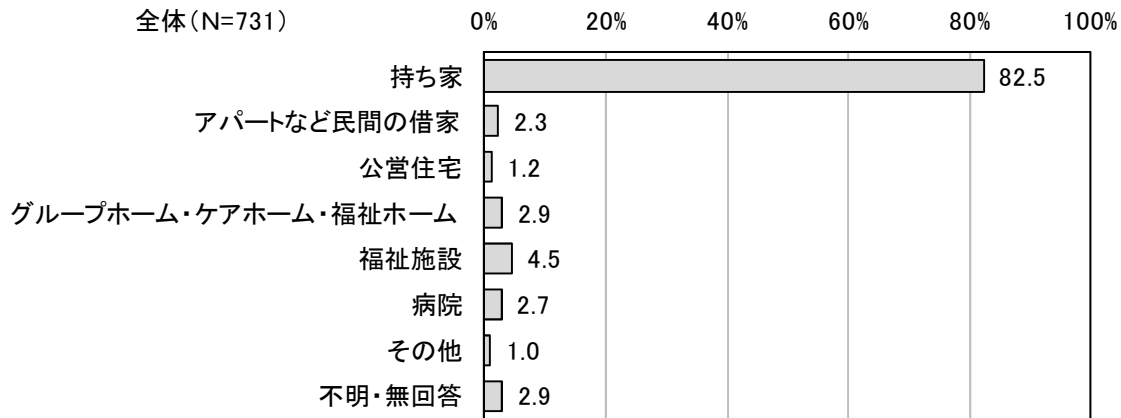
- 対象者の年齢は、「65歳以上」(57.3%)が半数以上を占めています。これに次いで「18~64歳」が33.0%、最も低い「0~17歳」は5.3%となっています。



④ 生活の場

問4 あなたが現在、暮らしているところはどちらですか。(1つだけ)

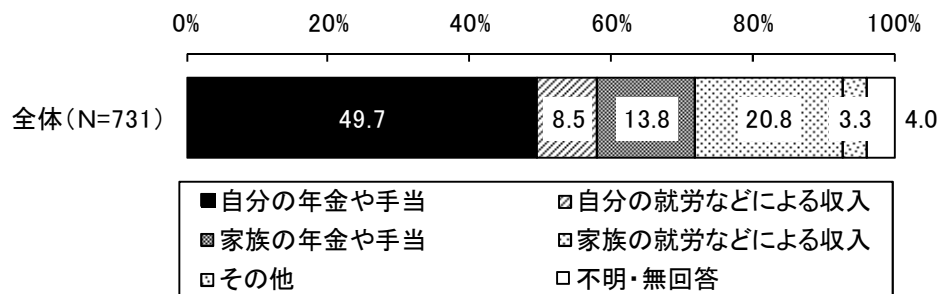
- 現在の生活の場は、「持ち家」(82.5%)が圧倒的に高くなっています。また、「福祉施設」は4.5%となっています。



⑤ 生活費のおもな収入源

問5 あなたの生活費は、おもに何によってまかなわれていますか。(1つだけ)

- 生活費のおもな収入源は、「自分の年金や手当」(49.7%)が半数以上を占めています。また、「自分の就労などによる収入」は8.5%となっています。

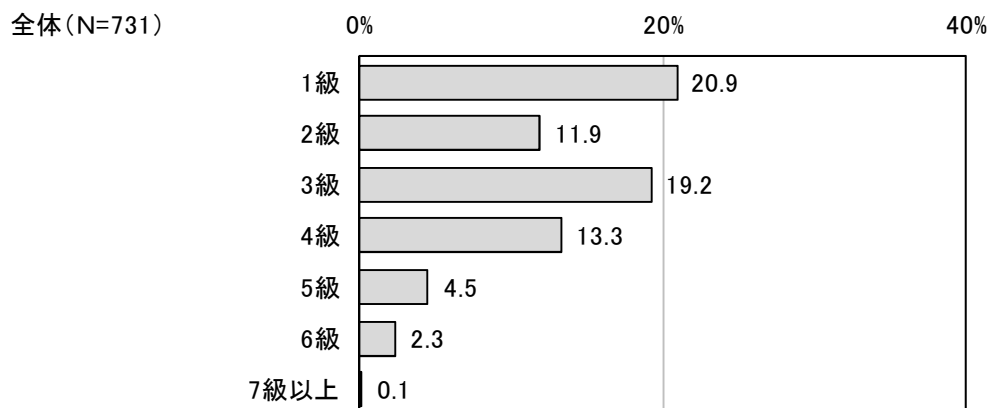
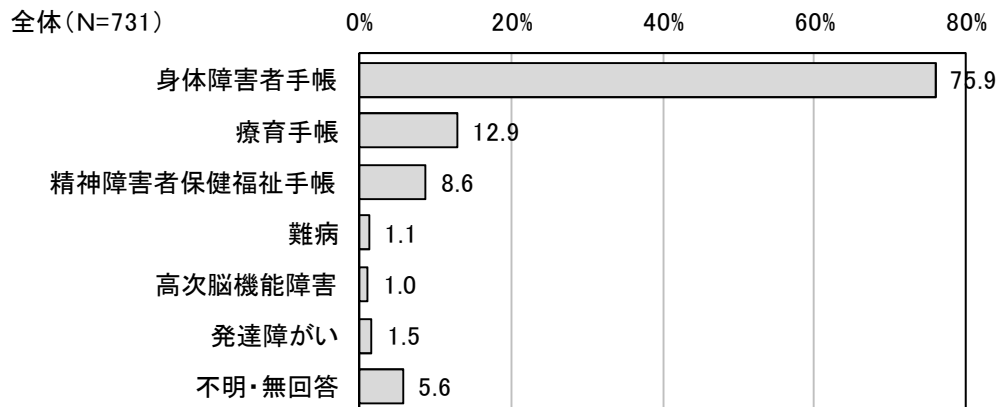


⑥ 「障害者手帳」の所持状況

問6 あなたがお持ちの「障害者手帳」は、次のどれですか。

(あてはまるものすべて)

- 「障害者手帳」の種別は、「身体障害者手帳」が75.9%、「療育手帳」が12.9%、「精神障害者保健福祉手帳」が8.6%となっています。  
「障がいの等級」については、1級が20.9%で最も高く、次いで、3級が19.2%となっています。

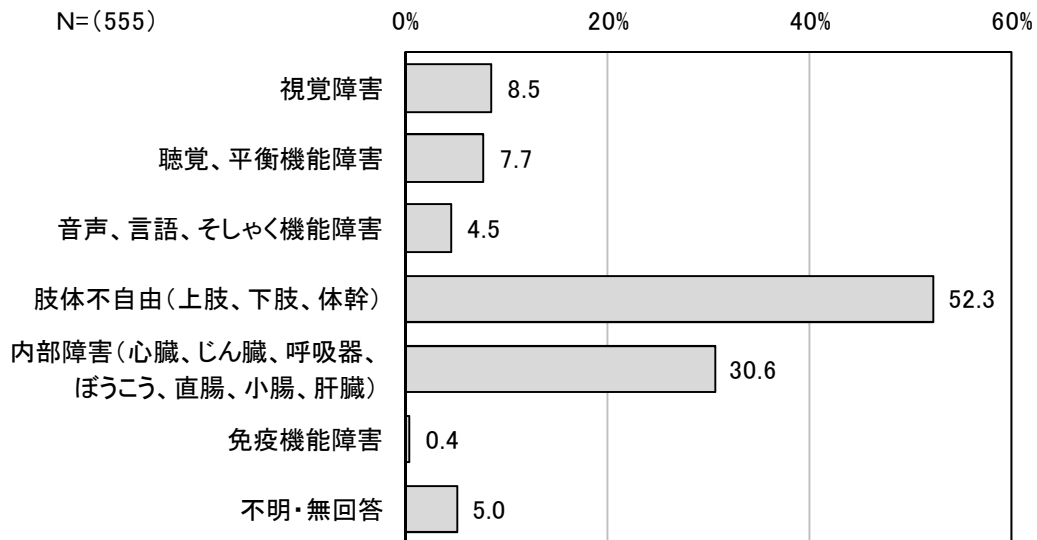


## ⑦ 身体障害者手帳の種類

【問6で「身体障害者手帳」を選んだ方にお聞きします。】

問6-1 あなたの身体障害の種類は、次のどれですか。(あてはまるものすべて)

- 身体障害者手帳所持者の障害の種類は、「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」が52.3%で最も高く、次いで「内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓)」が30.6%となっています。

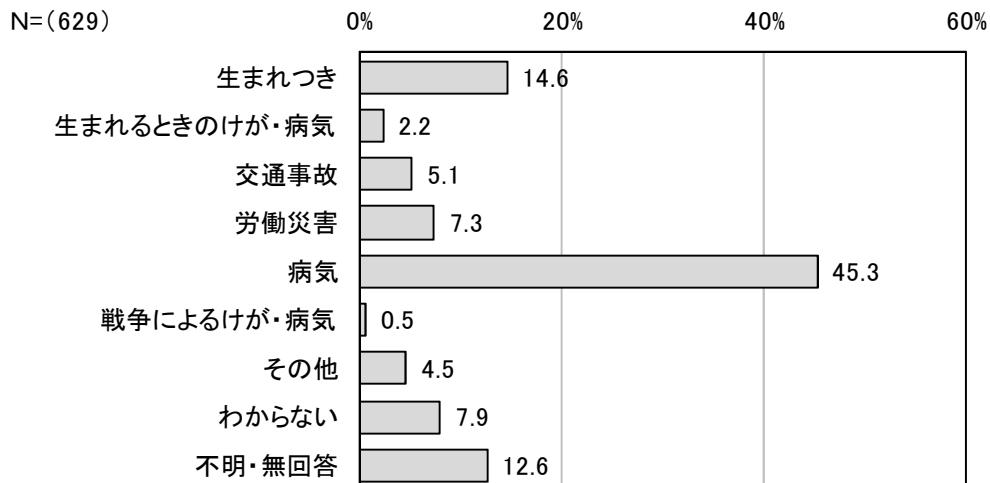


### ⑧ 障害のおもな原因

【問6で「身体障害者手帳」「療育手帳」を選んだ方にお聞きします。】

問6-2 あなたの障害のおもな原因は何ですか。(1つだけ)

- 障害のおもな原因は、「病気」(45.3%)が約半数を占めています。これに次いで「生まれつき」が14.6%となっています。

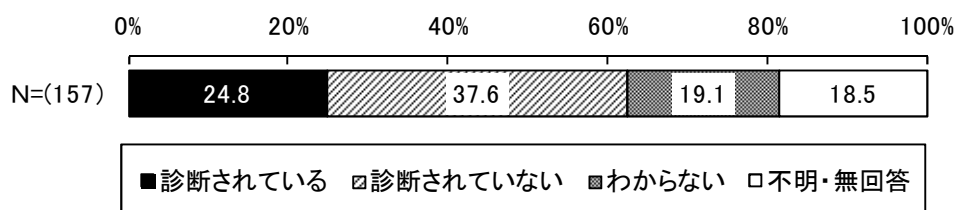


### ⑨ 広汎性発達障害の判定状況

【問6で「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」を選んだ方にお聞きします。】

問6-3 あなたは広汎性発達障害(自閉症、高次脳機能障害、アスペルガー症候群など)と診断されていますか。(1つだけ)

- 広汎性発達障害(自閉症、高次脳機能障害、アスペルガー症候群など)の診断については、「診断されている」が24.8%であり、およそ4人に1人の割合となっています。

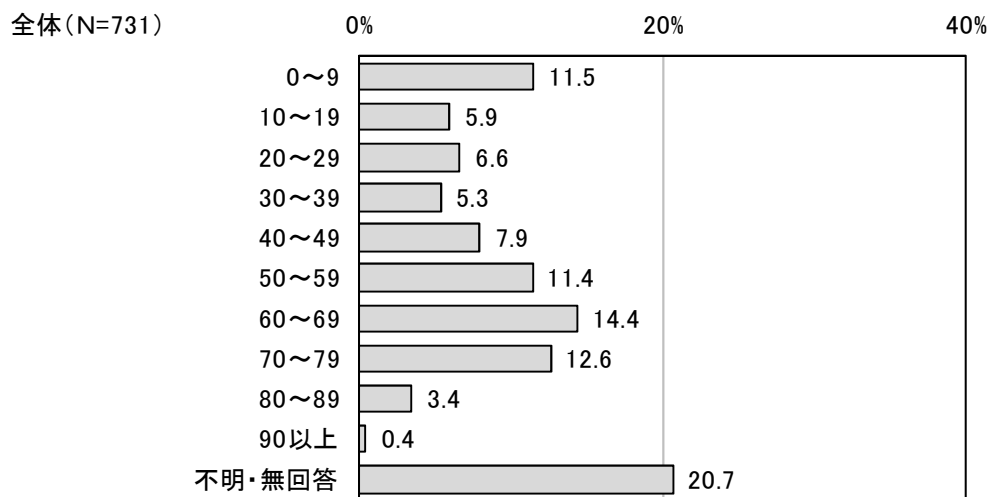
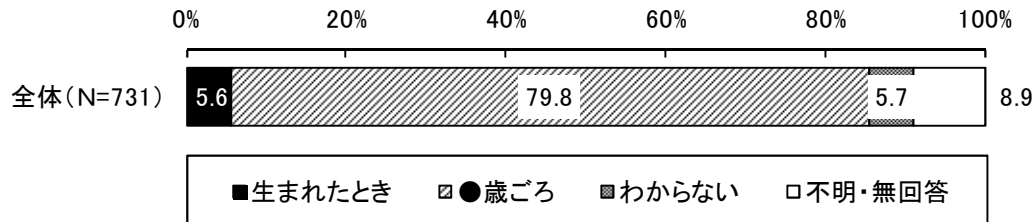




⑩ 障害を受けた、障害があると認定された時期

問7 あなたがおもな障害を受けた時期、または障害があると認定された時期は何歳ごろですか。(1つだけ)

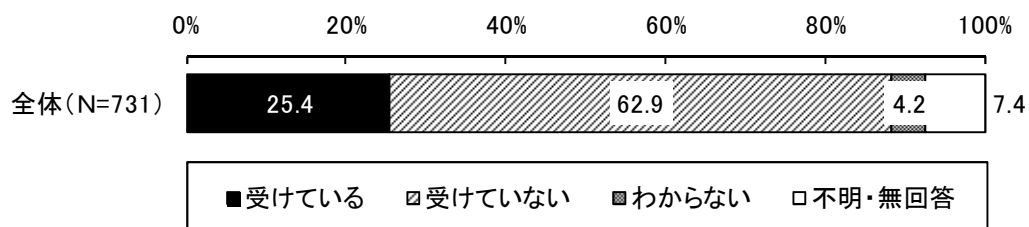
- 障害を受けた、または障害があると認定された時期は、「60～69歳」(14.4%)、「70～79歳」(12.6%)の割合が高くなっています。



⑪ 介護保険の要介護・要支援の認定の状況

問8 あなたは介護保険の要介護・要支援の認定を受けていますか。(1つだけ)

- 介護保険の要介護・要支援の認定を「受けている」人は25.4%となっています。



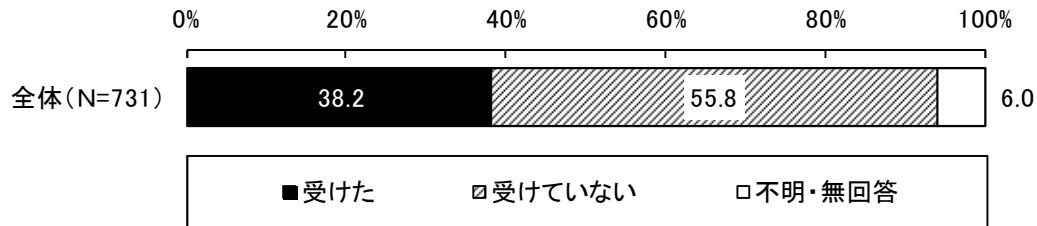
## 医療について

### ① 健康診断（人間ドック等）の受診状況

問9 あなたは、過去1年間に健康診断（人間ドック等）を受けましたか。

（1つだけ）

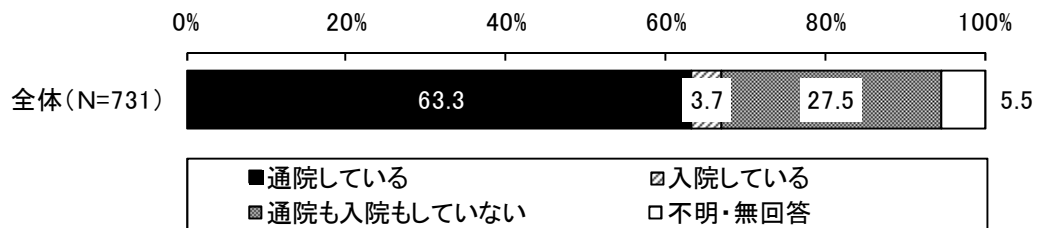
- 健康診断（人間ドック等）の受診状況は、「受けた」が38.2%、「受けていない」が55.8%となっています。



### ② 障害のための定期的な通院・入院状況

問10 あなたは、障害のために定期的に通院・入院していますか。（1つだけ）

- 通院・入院の状況は、「通院している」が63.3%、「入院している」が3.7%、「通院も入院もしていない」が27.5%となっています。

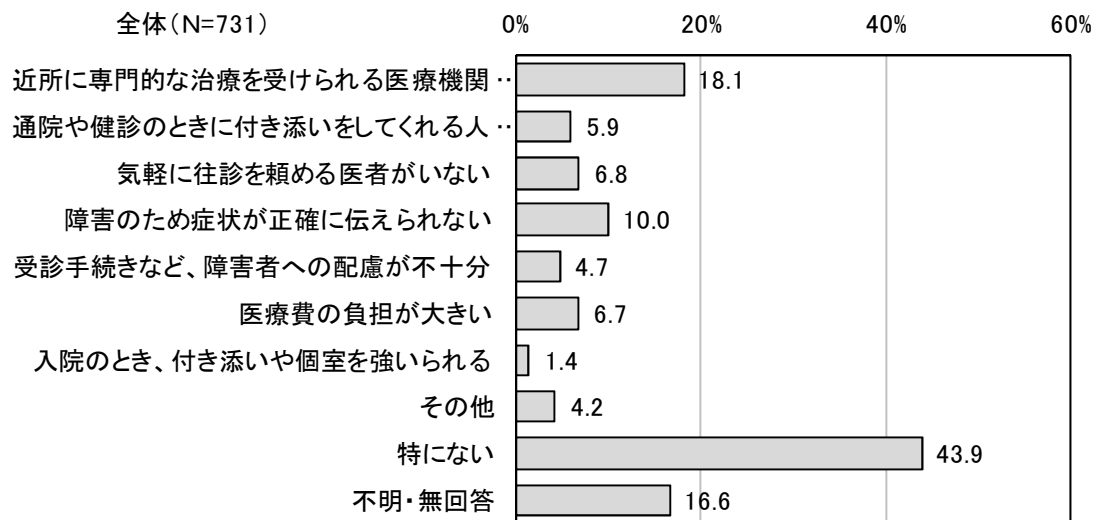


③ 健康管理や医療について困ったり不便に思っていること

問11 あなたが健康管理や医療について、困ったり不便に思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべて)

- 健康管理や医療について困ったり不便に思っていることは、『何らかの困りごとがある』は46.3%であり、「近所に専門的な治療を受けられる医療機関がない」が18.1%で最も高く、次いで「障害のため症状が正確に伝えられない」が10.0%などとなっています。また、「特にない」は43.9%となっています。



## 介助について

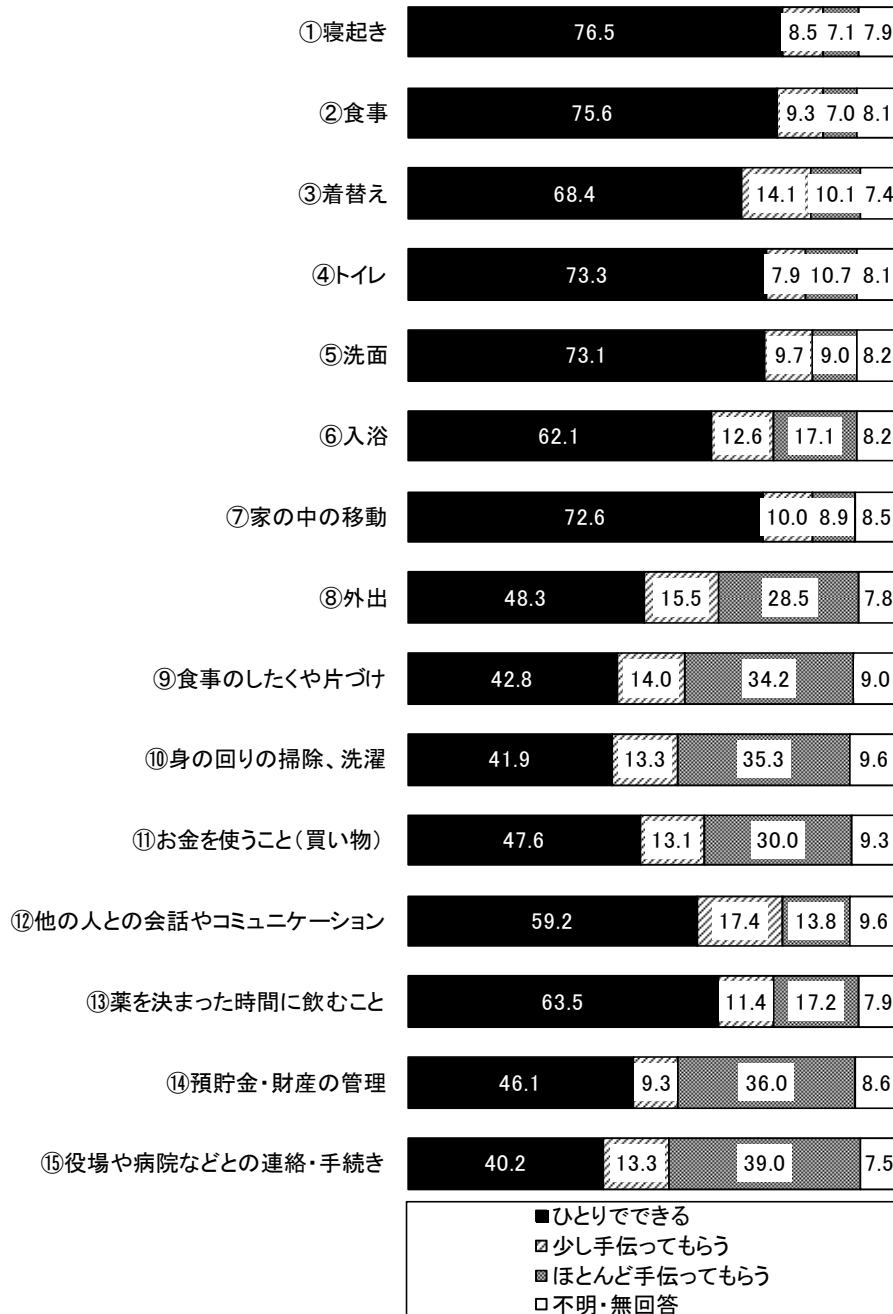
### ① 日常生活動作の状況

問12 次のことを、あなたはひとりでできますか。それとも手伝ってもらいますか。  
(補装具・福祉用具をお持ちの場合は、使用した状態でお答えください。)

(各1つつつ)

- 日常生活の自立度についてみると、「ひとりでできる」割合が高い項目は、「寝起き」(76.5%)、「食事」(75.6%)、「トイレ」(73.3%)、「洗面」(73.1%)、「家の中の移動」(72.6%)で7割以上となっています。一方、「ほとんど手伝ってもらう」割合が高い項目は、「役場や病院などとの連絡・手続き」(39.0%)、「預貯金・財産の管理」(36.0%)、「身の回りの掃除、洗濯」(35.3%)、「食事のしたくや後片付け」(34.2%)、「お金を使うこと(買い物)」(30.0%)で3割以上となっています。

(N=731)



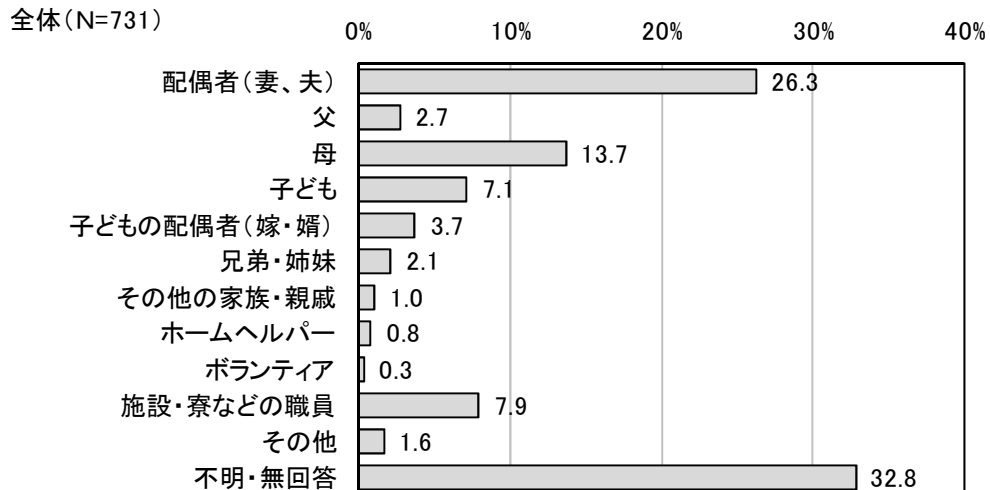
## ② おもな介助（手助け）者

【問12で1つでも「2 少し手伝ってもらおう」か「3 ほとんど手伝ってもらおう」を選んだ方にお聞きします。】

問12-1 ふだんあなたの介助（手助け）をしている方は、おもにどなたですか。

（1つだけ）

- おもな介助者は、「配偶者（妻、夫）」が26.3%で最も高く、次いで「母」が13.7%となっています。

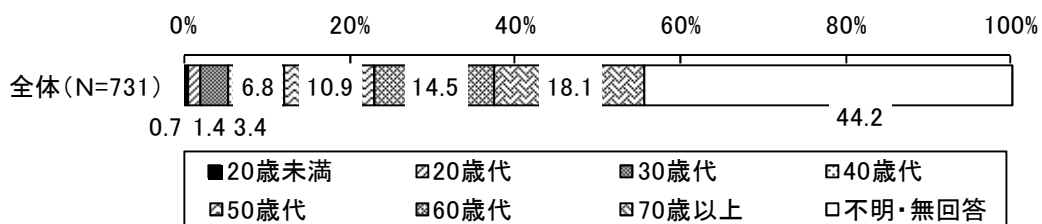


## ③ おもな介助者の年齢

【問12-1で「1」～「7」（ご家族）のいずれかを選んだ方にお聞きします。】

問12-2 あなたのおもな介助者の年齢はいくつぐらいですか。（1つだけ）

- おもな介助者の年齢は、「70歳以上」（18.1%）、「60歳代」（14.5%）の割合が高くなっています。



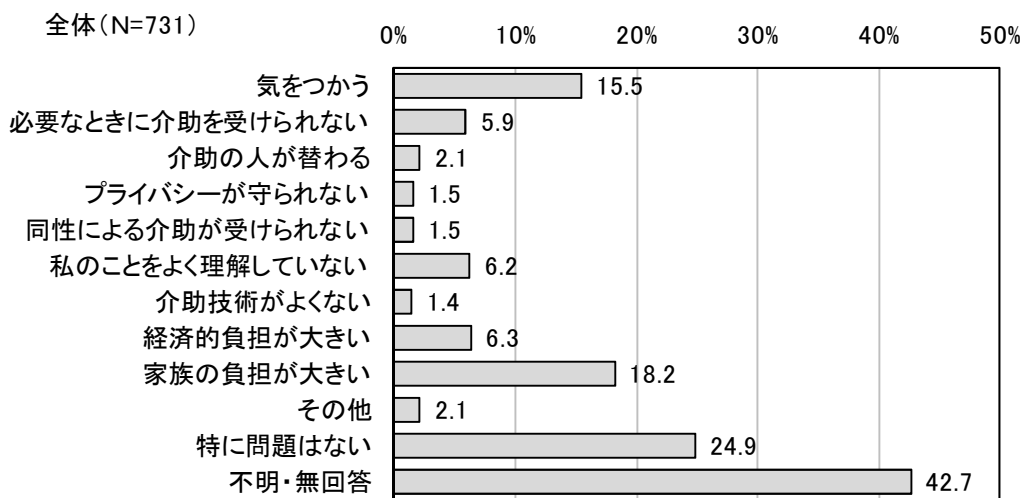
④ 介助を受けるときに、悩んでいることや困っていること

【問12で1つでも「2 少し手伝ってもらおう」か「3 ほとんど手伝ってもらおう」を選んだ方にお聞きします。】

問12-3 あなたが介助を受けるときに、悩んでいることや困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべて)

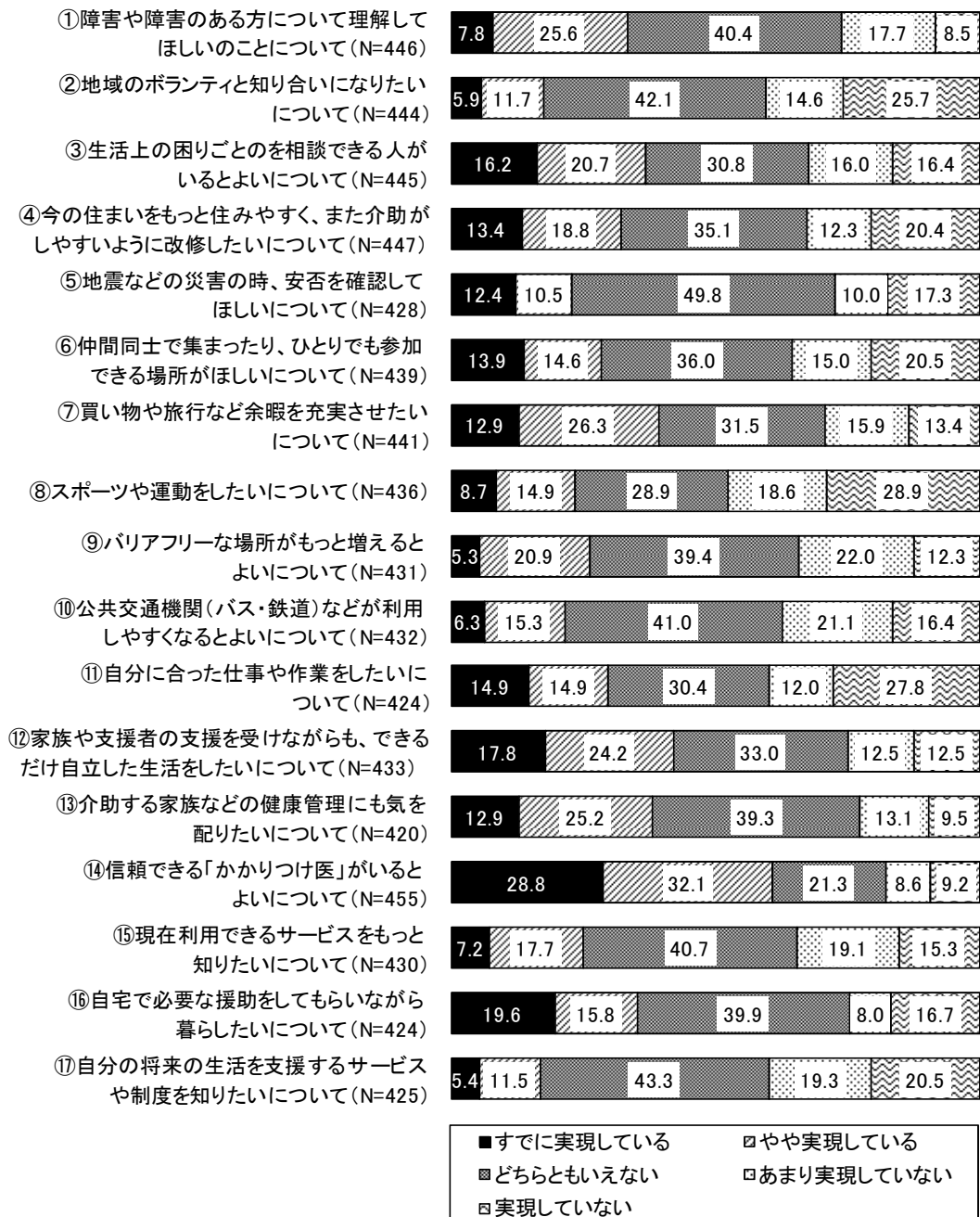
- 介助を受けるときに、悩んでいることや困っていることについては、『何らかの困りごとがある』は32.4%であり、「家族の負担が大きい」(18.2%)と「気をつかう」(15.5%)の割合が高くなっています。また、「特に問題はない」は24.9%となっています。





● 日常生活における実現度については、『実現している』<sup>\*1</sup>は、「⑭信頼できる「かかりつけ医」がいるとよい」(28.8%)で最も高く、約3割を占めていますが、これ以外の項目はいずれも3割未満となっています。また、『実現していない』<sup>\*2</sup>の割合が高い項目は、「⑧スポーツや運動をしたい」(28.9%)、「②地域のボランティアと知り合いになりたい」(25.7%)となっています。

(N=731)





## 福祉サービスについて

### ① 障害福祉サービスの利用状況

問14 あなたが現在利用している障害福祉サービスは、次のうちどれですか。

(あてはまるものすべて)

- 障害福祉サービスの利用状況は、「短期入所（ショートステイ）」が6.6%で最も高くなっていますが、その他の項目ではいずれも5%未満となっています。また、「利用していない」は52.8%となっています。

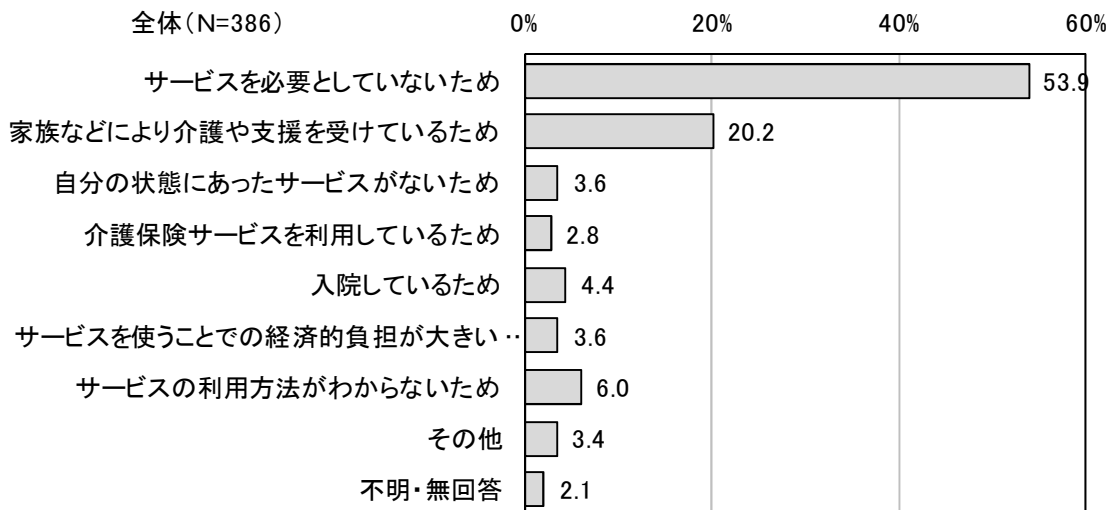


## ② 障害福祉サービスを利用していない理由

【問14で「31 利用していない」を選んだ方にお聞きします。】

問14-1 現在、サービスを利用していない理由は何ですか。（1つだけ）

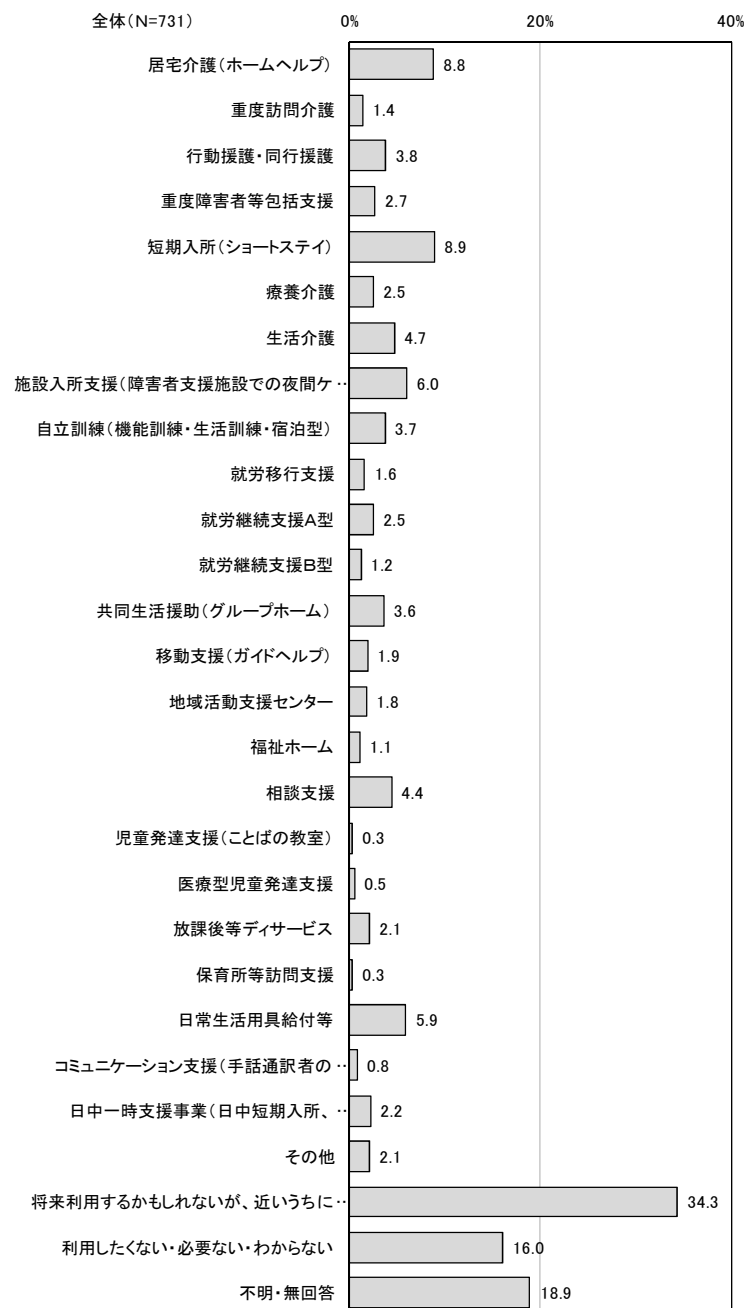
- サービスを利用していない理由は、「サービスを必要としていないため」が53.9%で最も高く、次いで「家族などにより介護や支援を受けているため」（20.2%）となっています。



### ③ 障害福祉サービスの利用意向

問15 あなたが近いうちに（今後5年くらいの間に）利用したい障害福祉サービスは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべて）

- 障害福祉サービスの利用意向は、介護給付では「短期入所（ショートステイ）」（8.9%）と「居宅介護（ホームヘルプ）」（8.8%）が高くなっています。また、「将来利用するかもしれないが、近いうちに利用するつもりはない」は34.3%、「利用したくない・必要ない・わからない」は16.0%となっています。

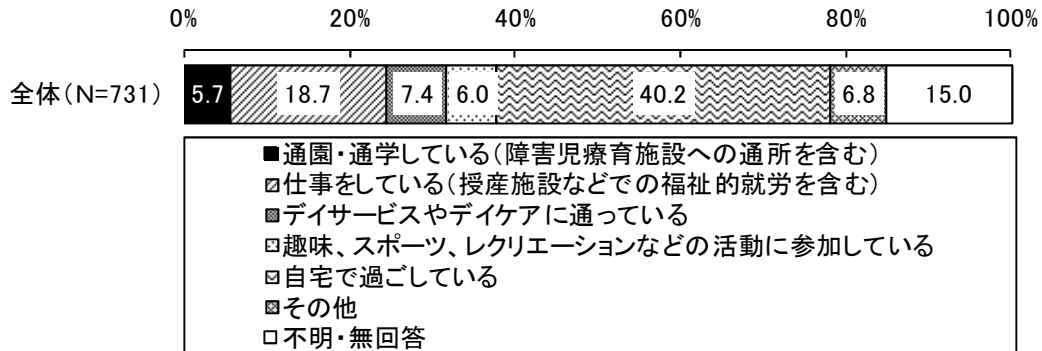


## 就労・就学について

### ① ふだんの過ごし方

問16 あなたはふだん、おもにどのようにして過ごしていますか。(1つだけ)

- ふだんの過ごし方は、「自宅で過ごしている」が40.2%で最も高く、次いで「仕事をしている(授産施設などでの福祉的就労を含む)」が18.7%となっています。

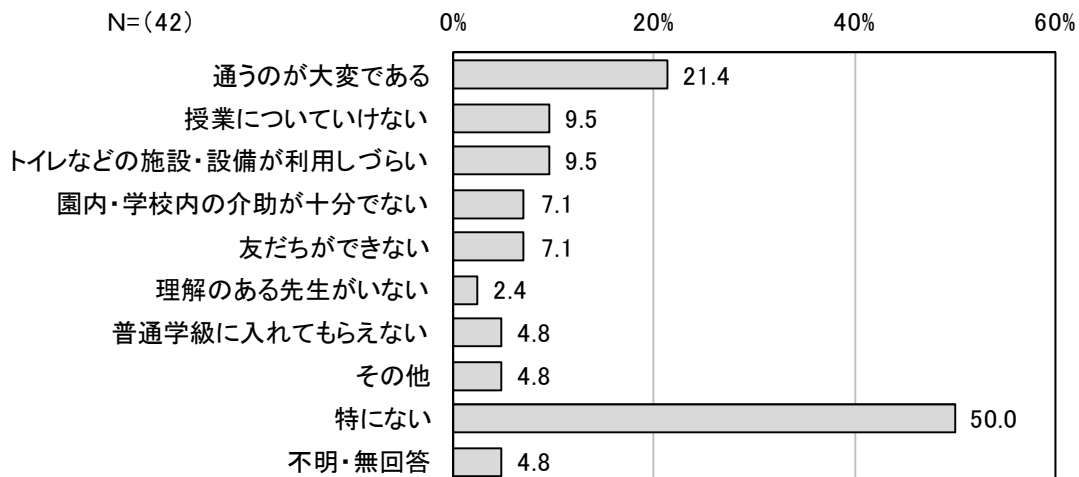


### ② 通園・通学で困っていること

【問16で「1 通園・通学している」を選んだ方にお聞きします。】

問16-1 通園・通学で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべて)

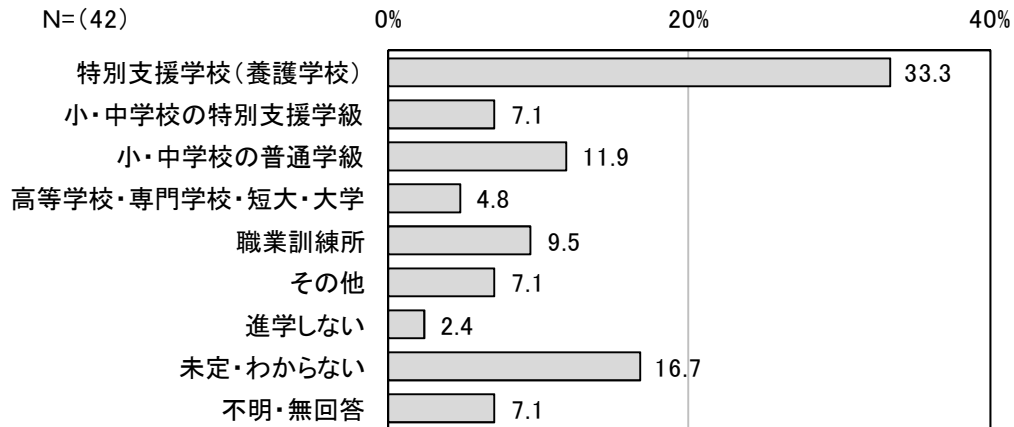
- 通園・通学で困っていることは、『何らかの困りごとがある』が45.2%であり、「通るのが大変である」が21.4%で高くなっています。また、「特にない」は50.0%となっています。



### ③ 進学を希望する学校・学級

問16-2 今後、進学を希望する学校・学級はどこですか。(1つだけ)

- 進学の希望は、「特別支援学校（養護学校）」が33.3%で最も高くなっています。次いで、「小・中学校の普通学級」が11.9%、「職業訓練所」が9.5%となっています。

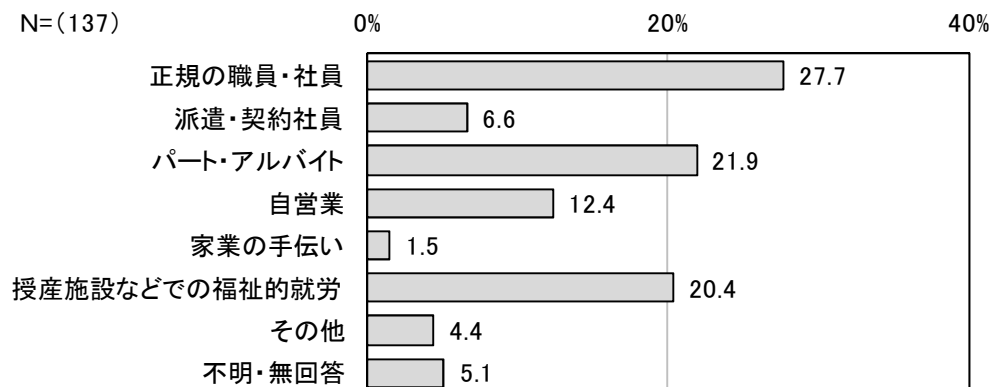


### ④ 就労形態

【問16で「2 仕事をしている」を選んだ方にお聞きします。】

問16-3 あなたの働き方はどのような形態ですか。(1つだけ)

- 就労形態は、「正規の職員・社員」が27.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(21.9%)、「授産施設などでの福祉的就労」(20.4%)、「自営業」(12.4%)となっています。

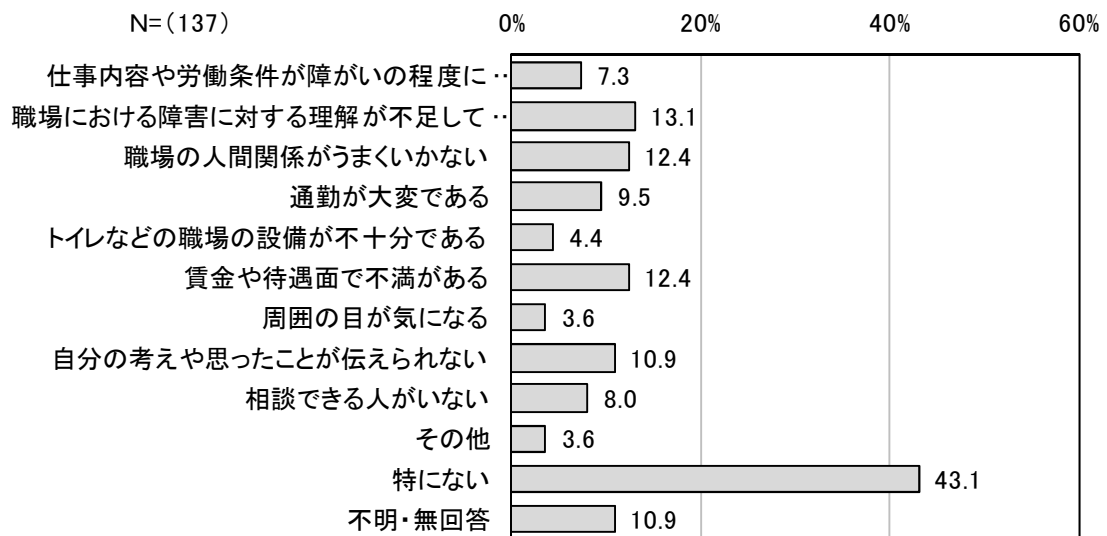


⑤ 仕事で悩んでいることや困っていること

問16-4 現在の仕事のことで悩んでいることや困っていることは何ですか。

(あてはまるものすべて)

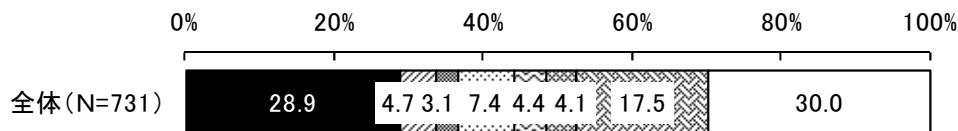
- 仕事のことで悩んでいることや困っていることは、『何らかの悩みごとがある』が46.0%であり、「職場における障害に対する理解が不足している」が13.1%で最も高く、次いで「賃金や待遇面で不満がある」(12.4%)、「職場の人間関係がうまくいかない」(12.4%) などとなっています。また、「特にない」は43.1%となっています。



⑥ 就労意向

問17 今後(将来)、あなたはどのような仕事に就きたいですか。(1つだけ)

- 就労意向は、「今のままでよい」が28.9%で最も高く、次いで「自宅での仕事」が7.4%となっています。また、「未定・わからない」は17.5%となっています。

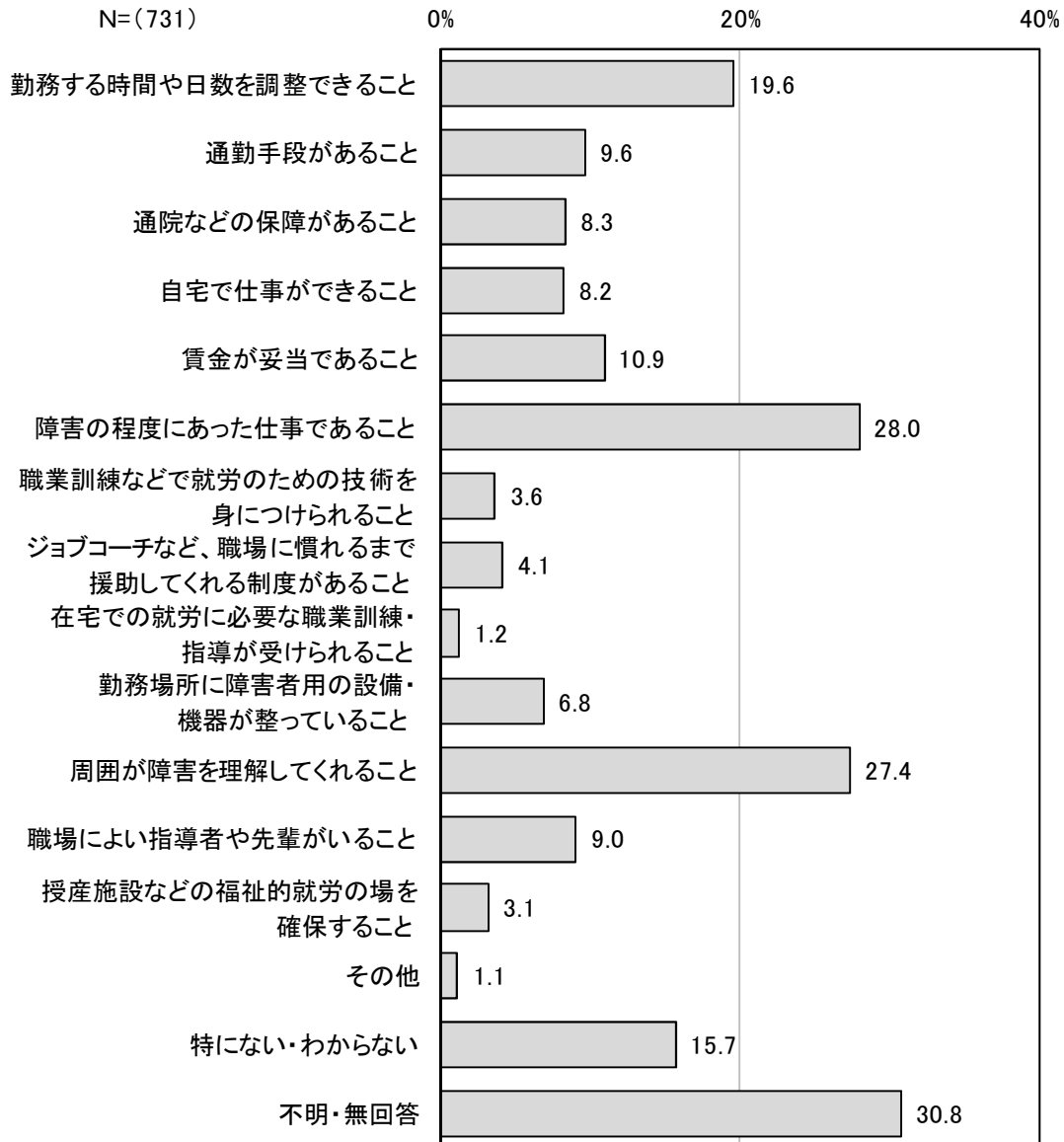


- 今のままでよい
- 会社などで正規の職員
- 会社などでパート・アルバイト
- 自宅での仕事
- 授産施設などの福祉的就労の場での仕事
- その他
- 未定・わからない
- 不明・無回答

⑦ 障害のある人が働くために必要な環境整備

問18 障害のある人が働くためには、おもにどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(3つまで)

- 働くために必要な環境整備は、「障害の程度にあった仕事であること」(28.0%)と「周囲が障害を理解してくれること」(27.4%)が2割台で高くなっています。



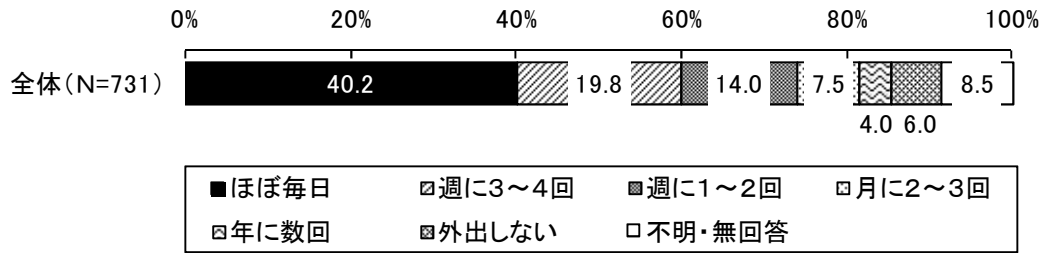
## 外出について

### 19 外出頻度

問19 あなたはふだん、どのくらい外出しますか。通勤、通園・通学、通所、通院、機能訓練、日常の散歩、買い物など、すべてを含めてお答えください。

(1つだけ)

- 外出の頻度は、「ほぼ毎日」が40.2%で最も高くなっています。また、「年に数回」「外出しない」をあわせた『外出機会がほとんどない』人は10.0%となっています。

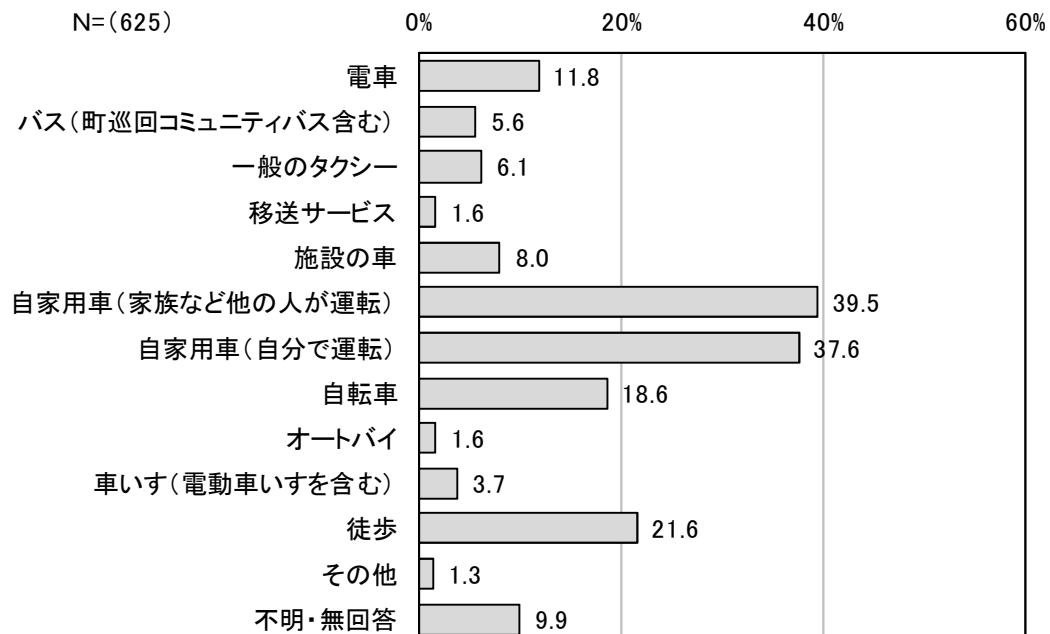


### ② 外出時の交通手段

【問19で「1 ほぼ毎日」～「5 年に数回」のいずれかを選んだ方にお聞きします。】

問19-1 あなたが外出する場合に、よく利用する交通手段は何ですか。(3つまで)

- 外出時の交通手段は、「自家用車（家族など他の人が運転）」(39.5%)と「自家用車（自分で運転）」(37.6%)の割合が高く、自家用車で移動する割合が高くなっています。



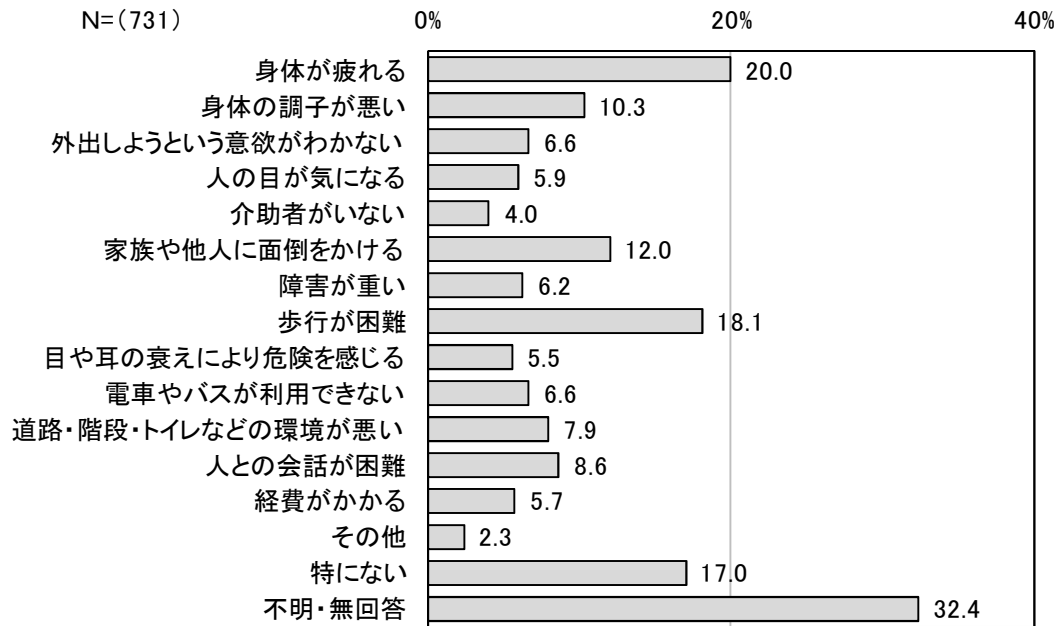


③ 外出しない理由、または外出するときに困ること

問20 外出しない理由、または外出するときに困ることは何ですか。

(あてはまるものすべて)

- 外出しない理由、外出するときに困ることは、『何らかの困りごとがある』は50.6%であり、「身体が疲れる」(20.0%)、「歩行が困難」(18.1%)が約2割で高く、次いで「家族や他人に面倒をかける」が12.0%となっています。また、「特にない」は17.0%となっています。

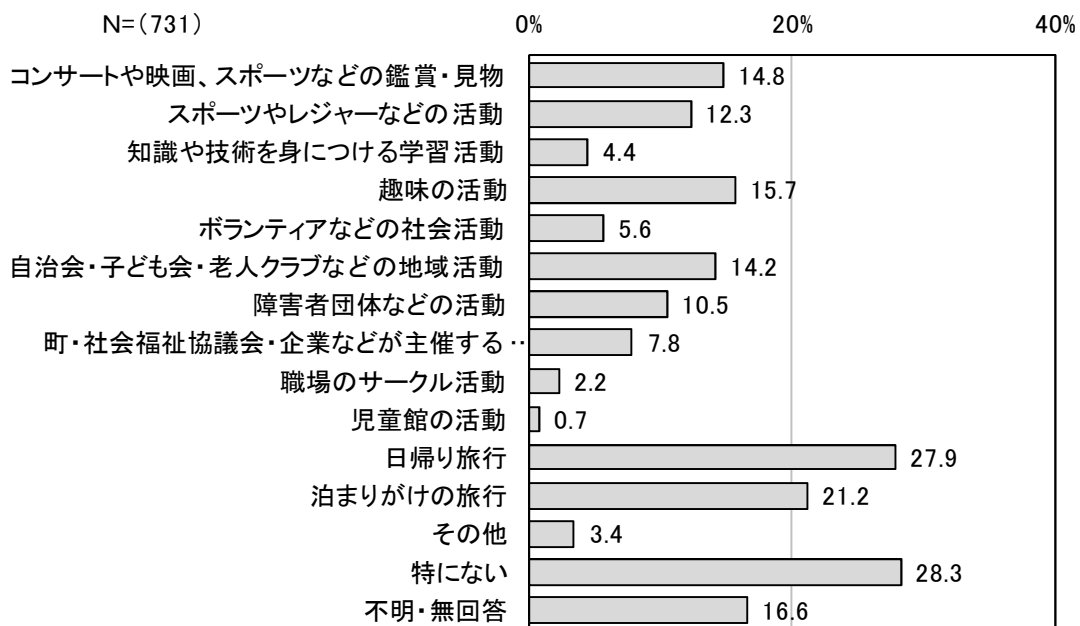


## 地域活動や文化・スポーツ活動について

### ① 1年間に行った趣味や学習、スポーツなどの活動

問21 この1年間に、あなたが行った趣味や学習、スポーツなどの活動は何ですか。  
(あてはまるものすべて)

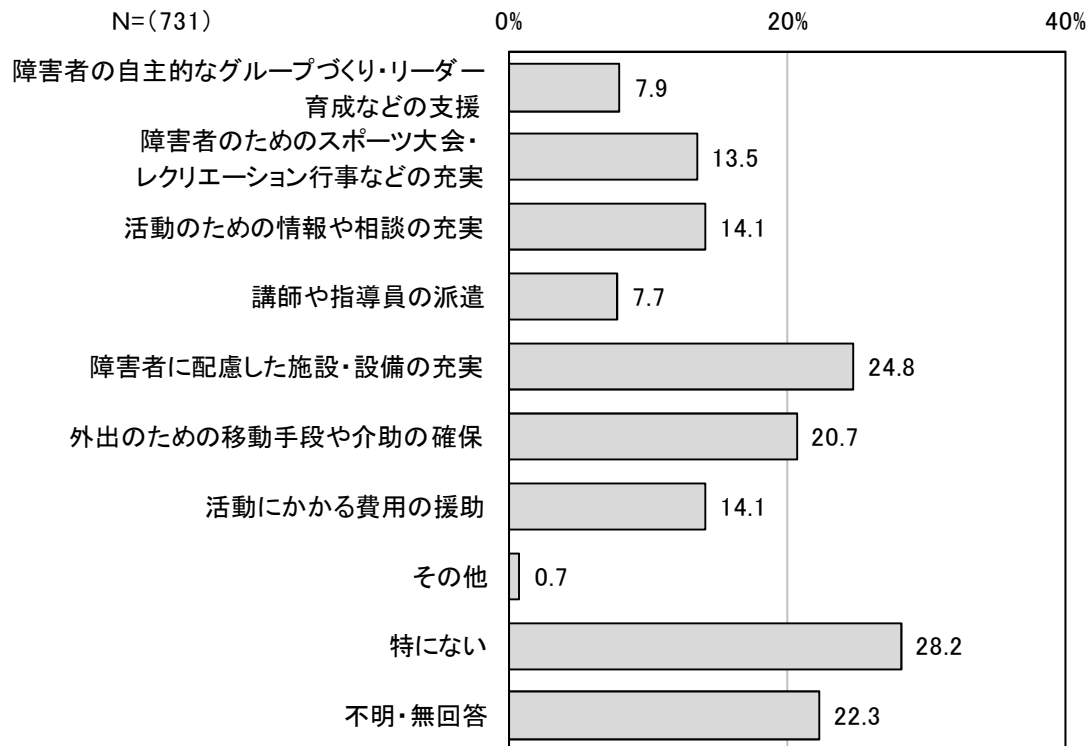
- 趣味や学習、スポーツなどの活動については、「日帰り旅行」が27.9%で最も高く、次いで「泊まりがけの旅行」(21.2%)、「趣味の活動」(15.7%)、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見物」(14.8%)、「自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動」(14.2%) などとなっています。また、「特にない」は28.3%となっています。



## ② 障害のある人が文化・スポーツ活動をするため必要な支援

問22 障害のある人が文化・スポーツ活動をするために、どのようなことを支援してほしいと思いますか。(3つまで)

- 文化・スポーツ活動をするために支援してほしいことは、「特にない」が28.2%で最も高く、次いで、「障害者に配慮した施設・設備の充実」が24.8%「外出のための移動手段や介助の確保」(20.7%)、「活動にかかる費用の援助」(14.1%)、「活動のための情報や相談の充実」(14.1%)となっています。

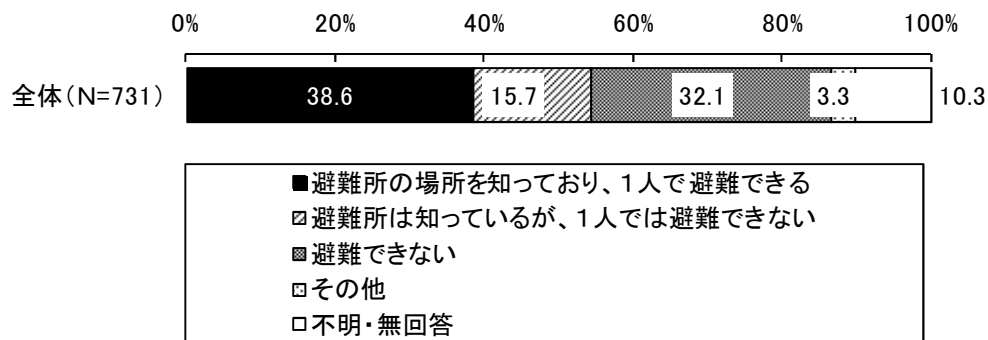


## 災害のことについて

### ① 災害時における避難について

問23 あなたは、1人で避難所に避難できますか。(ひとつだけ)

● 災害時における避難については、「避難所の場所を知っており、1人で避難できる」が38.6%で最も高く、次いで「避難できない」が(32.1%)、「避難所は知っているが、1人では避難できない」(15.7%)となっています。

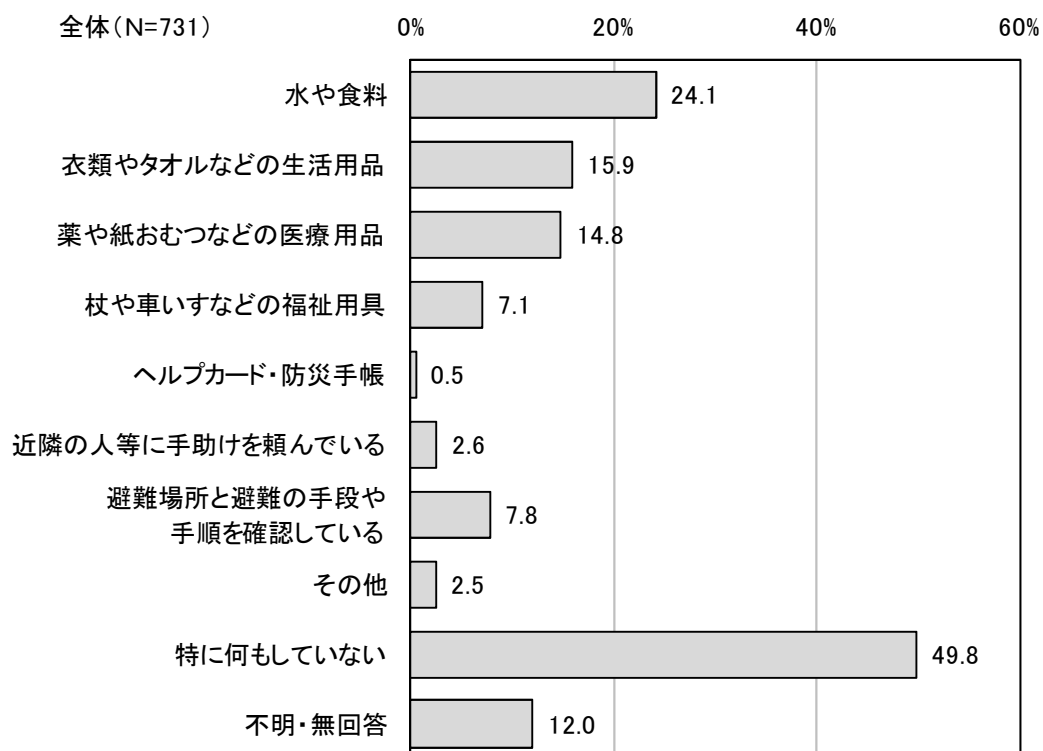


### ②災害に対する備えについて

問24 災害が起こった時に備え、準備しているものはありますか。

(あてはまるものすべて)

● 災害に対する備えについては、「特になにもしていない」が49.8%で最も高く、次いで「水や食料」(24.1%)、「衣類やタオルなどの生活用品」(15.9%)となっています。

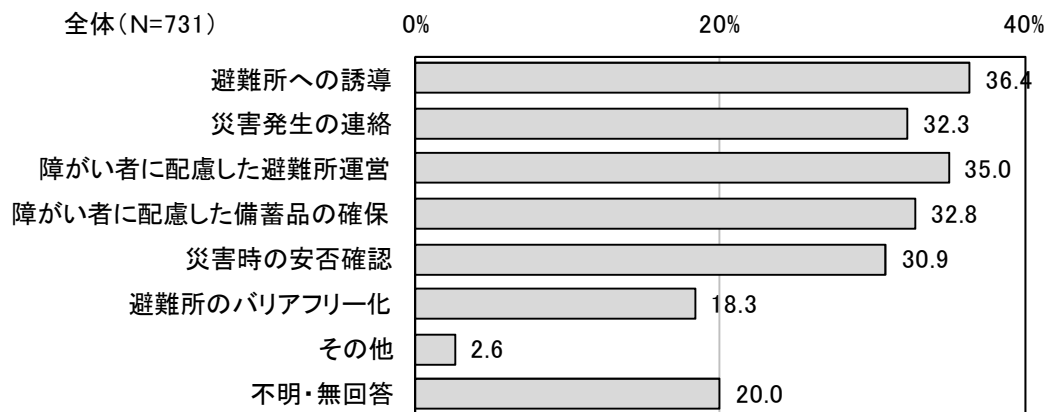


### ③災害時における、希望する支援について

問25 災害時の支援体制については、どのようなものを希望しますか。

(あてはまるものすべて)

- 災害時における希望する支援は、「避難所への誘導」が36.4%で最も高く、次いで「障がい者に配慮した避難所運営」(35.0%)、「障がい者に配慮した備蓄品の確保」(32.8%)となっています。

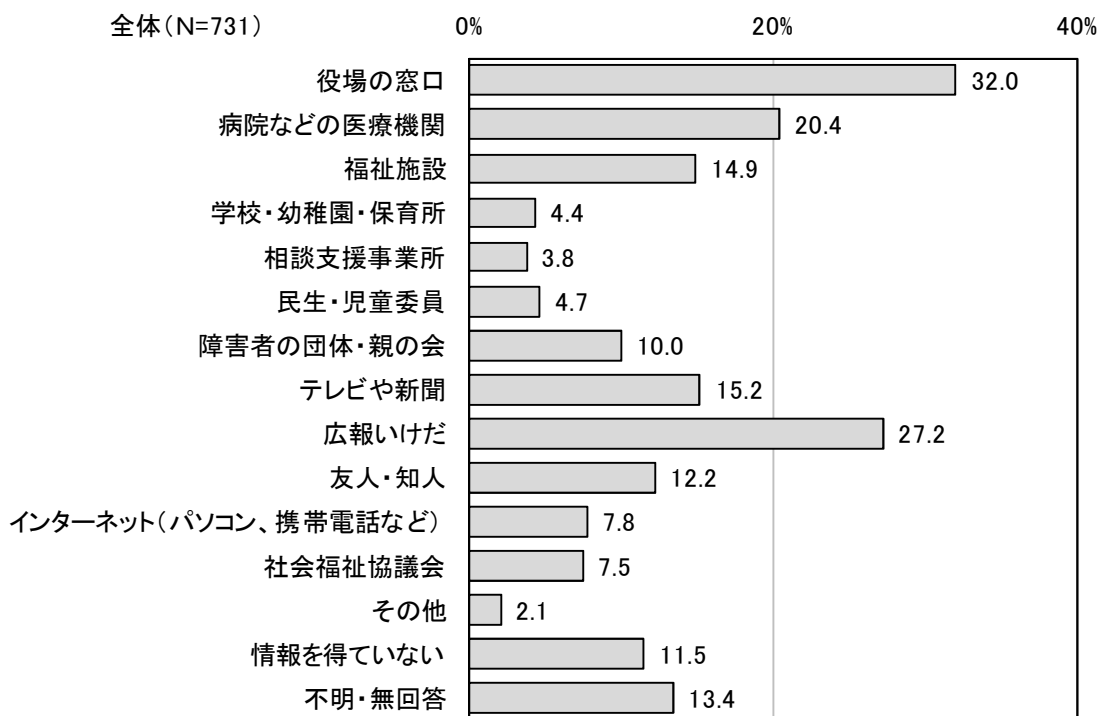


## 情報・相談・連絡について

### ① 福祉サービスの情報源

問26 あなたやご家族の方は、福祉サービスに関して必要な情報をどこで（どこから）得ていますか。（あてはまるものすべて）

- 福祉サービスに関する情報源は、「役場の窓口」が32.0%で最も高く、次いで「広報いけだ」（27.2%）、「病院などの医療機関」（20.4%）が2割台が続いています。また、「情報を得ていない」は11.5%となっています。

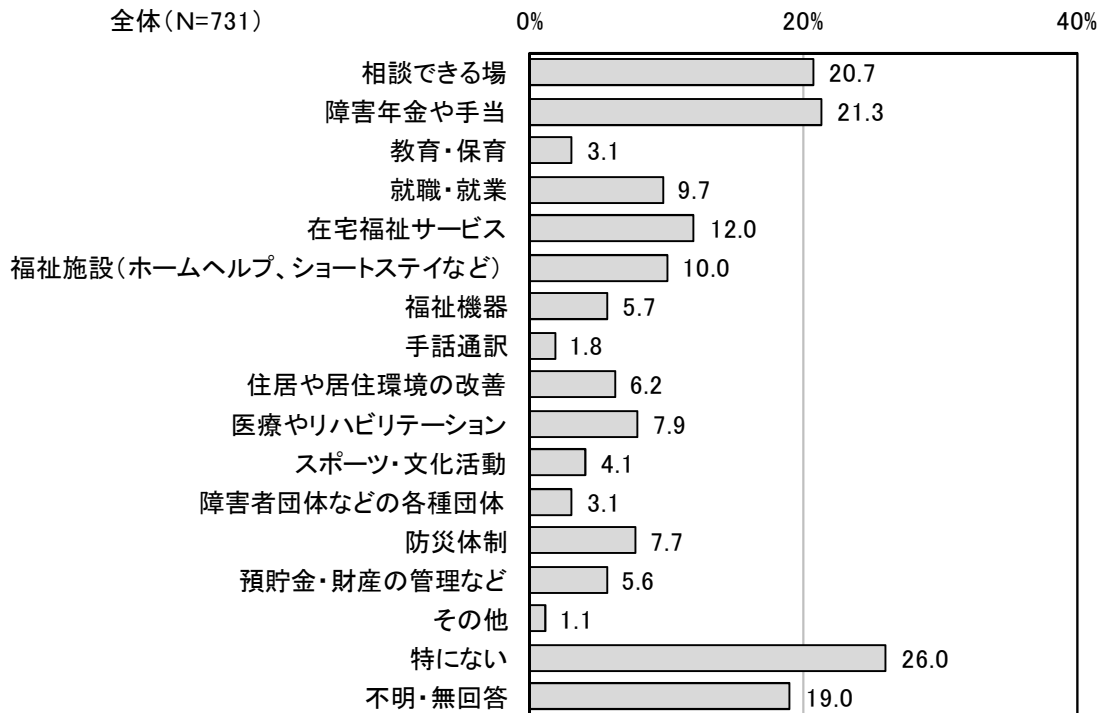


② 知りたいこと

問27 あなたが知りたいと思っていることは何に関することですか。

(あてはまるものすべて)

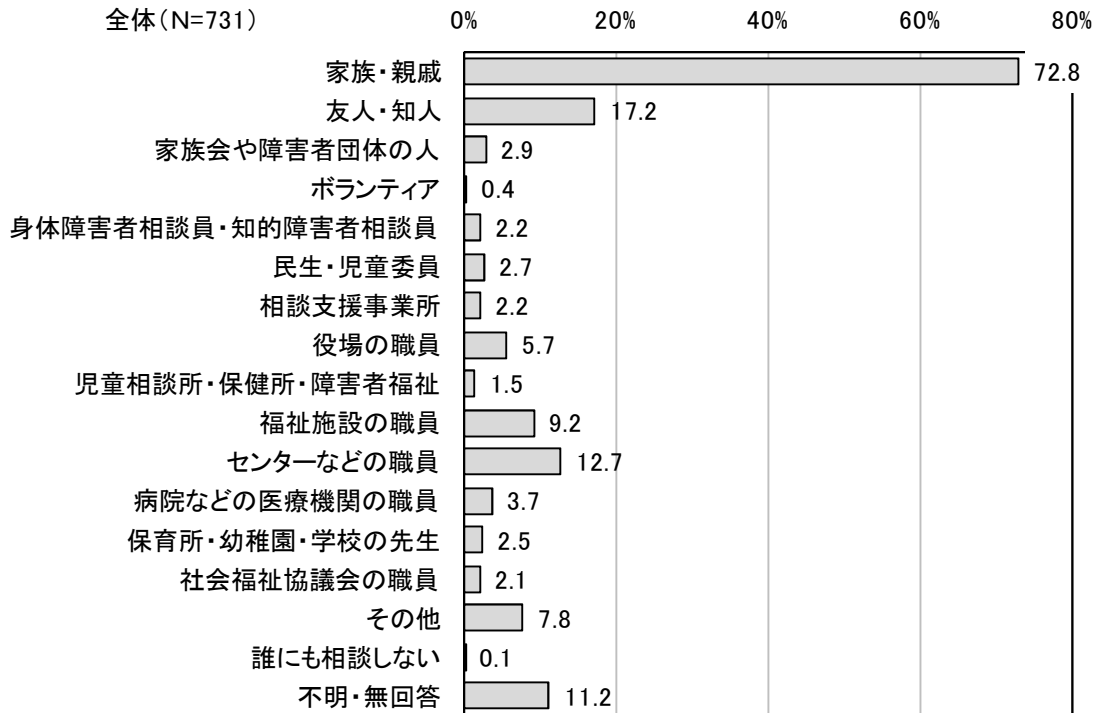
- 知りたいことは、「障害年金や手当」(21.3%)と「相談できる場」(20.7%)が高くなっています。また、「特にない」は26.0%となっています。



### ③ 相談相手

問28 あなたは心配事について、誰に相談していますか。(あてはまるものすべて)

- 相談相手は、「家族・親戚」(72.8%)が圧倒的に高くなっています。これに次いで「友人・知人」(17.2%)、「センターなどの職員」(12.7%)、「福祉施設の職員」(9.2%)が続いています。また、「誰にも相談しない」は0.1%となっています。

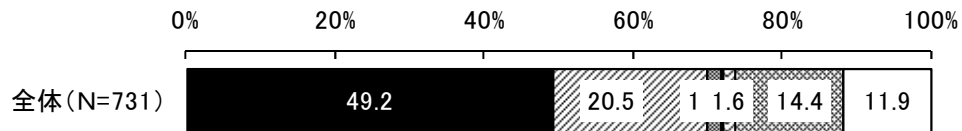




#### ④ 緊急時の連絡手段

問29 緊急時の連絡には、どの機器を使用しますか。(その場に他の人がいない場合)  
(1つだけ)

- 緊急時の連絡方法は、「携帯電話」が49.2%で最も高く、次いで「固定電話」が20.5%となっています。また、「いずれも使用できない」は14.4%となっています。



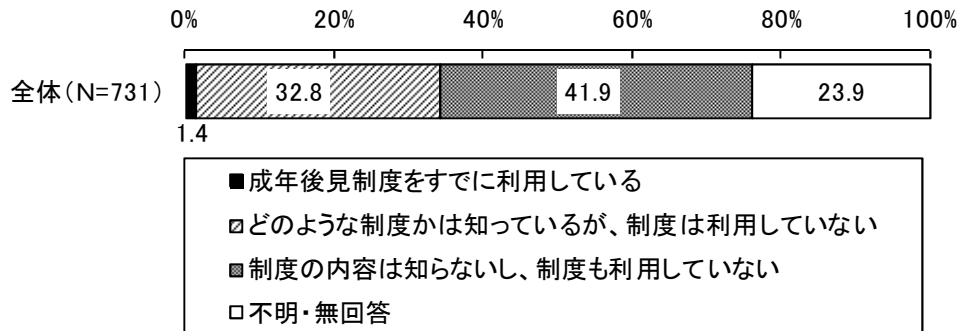
- |            |                |
|------------|----------------|
| ■ 携帯電話     | □ 固定電話         |
| ▣ 緊急通報システム | □ ファクシミリ (FAX) |
| □ その他      | ▣ いずれも使用できない   |
| □ 不明・無回答   |                |

## 成年後見制度について

### ① 「成年後見制度」の認知度について

問30 認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。(1つだけ)

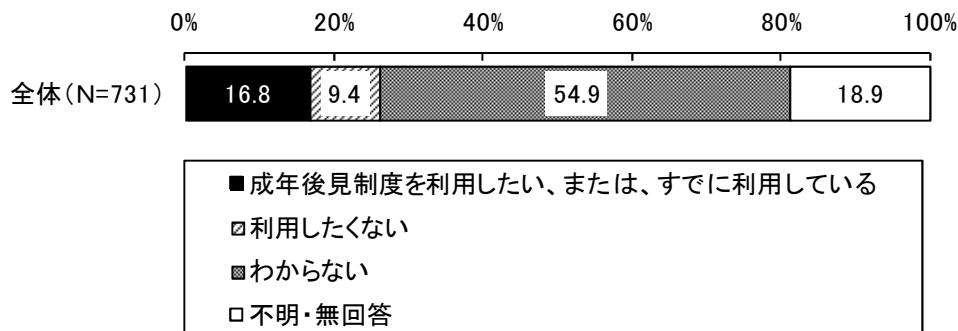
- 「成年後見制度」の認知度については、「制度の内容は知らないし、制度も利用していない」が41.9%で最も高くなっています。次いで、「どのような制度かは知っているが、制度は利用していない」が32.8%と3割を超えています。



### ② 「成年後見制度」の利用希望について

問31 あなたが認知症、精神障害などにより、判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(1つだけ)

- 「成年後見制度」の利用希望については、「わからない」が54.9%で最も高くなっています。次いで、「成年後見制度を利用したい、または、すでに利用している」が16.8%となっています。

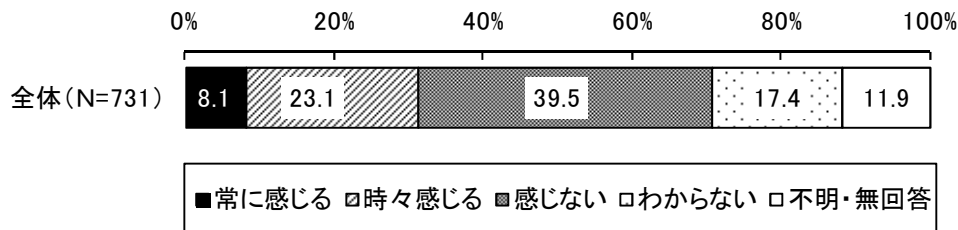


## 障害福祉の向上について

### ① 障害があることで偏見や差別を感じること

問32 あなたは、地域で生活をしていて、障害があることで、偏見や差別を感じる  
ことがありますか。(1つだけ)

- 障害があることで、偏見や差別を感じることについては、「感じない」が39.5%で最も高くなっていますが、「常に感じる」と「時々感じる」をあわせた『感じる』は、31.2%と3割を超えています。

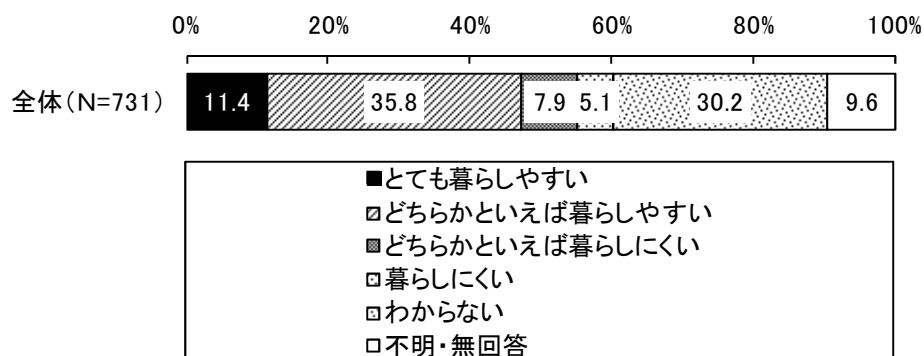


### ② 池田町の住みやすさ

問33 あなたは、池田町が障害者にとって住みやすいまちだと思いますか。

(1つだけ)

- 池田町の住みやすさは、「どちらかといえば暮らしやすい」が35.8%で最も高く、「とても暮らしやすい」とあわせた『暮らしやすい』は47.2%を占めています。一方、『暮らしにくい』（「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」の計）は13.0%となっています。また、「わからない」は30.2%となっています。



### ③ 充実してほしい障害福祉施策

問34 あなたが現在、充実してほしい障害福祉施策は何ですか。(3つまで)

- 充実してほしい障害福祉施策は、「サービス利用の手続きの簡素化」(20.8%)、「制度やサービスなどに関する情報提供の充実」(20.7%)、「保健・医療・福祉のサービスの充実」(20.7%)が2割台で高くなっています。

